

平成28年度磐田北小学校学校評価結果			
回答者数	児童	842	
	保護者	823(児童一人ずつ回答)	
	職員	35	

※各欄の数字は、「かなり当てはまる」「まあ当てはまる」と回答された割合(%)です。

質問内容	年度	子ども 保護者 職員		
		子ども	保護者	職員
1 授業の内容がよく分かる。	20年度	89.5	85	91.2
	21年度	89.6	88.2	83.8
	22年度	86.2	87	95.1
	23年度	87.0	88.2	94.1
	24年度	89.2	89.1	97.1
	25年度	87.5	86.4	100.0
	26年度	85.5	83.6	97.3
	27年度	85.9	85.5	92.3
	28年度	86.5	85.0	90.9

【考察】子ども「保護者」の数値が本年度も目標値の90%を越えなかったが、数値はほぼ横ばいである。学校では、個別学習等を行い、習熟を図っている。教職員からは、個別学習を行うことで児童のつまづきに気づき、個に応じた指導の必要性を感じている部分がある。「保護者」からは、宿題の見直しをしてほしいとの声もある。(数値目標90%以上)

質問内容	年度	子ども 保護者 職員		
		子ども	保護者	職員
2 分からないことは、先生に聞いたり、自分で調べたりして解決している。	20年度	79.8	56.4	38.2
	21年度	81.2	62.8	41.7
	22年度	76.3	65.4	46.3
	23年度	79.2	66.2	51.4
	24年度	79.5	64.3	63.9
	25年度	79.7	61.0	65.7
	26年度	78.1	61.1	73.0
	27年度	78.1	63.9	59.0
	28年度	76.2	63.0	66.7

【考察】全般的に数値が上がらない項目である。主体的な学び、何を学ぶか、どのように学ぶか等の視点からも授業改善に努力することが大切である。また、対話的な学びを通して、考えを広げられるようにしたり、深い学びにより習得したことを活用したりできるような指導を充実させていきたい。

質問内容	年度	子ども 保護者 職員		
		子ども	保護者	職員
3 学校に楽しく通っている。	20年度	93.8	93.6	100
	21年度	90.8	95.7	97.2
	22年度	91.2	94.8	97.6
	23年度	92.1	97.1	94.4
	24年度	93.9	96.1	97.4
	25年度	94.0	96.0	92.1
	26年度	93.4	96.6	100.0
	27年度	92.4	96.1	97.4
	28年度	92.0	95.0	100.0

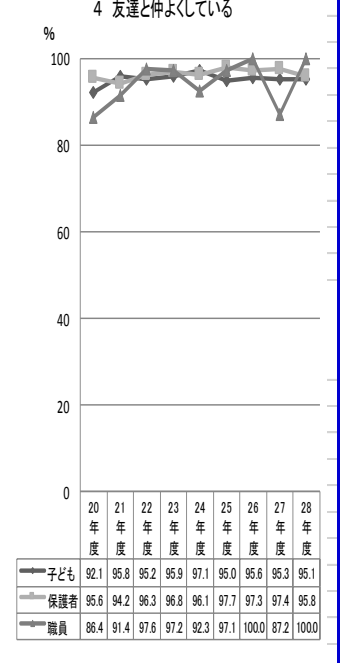
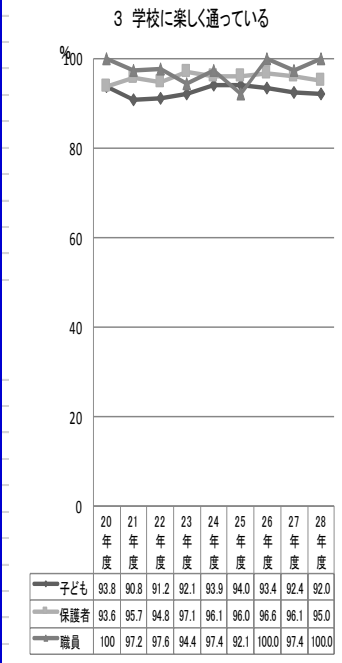
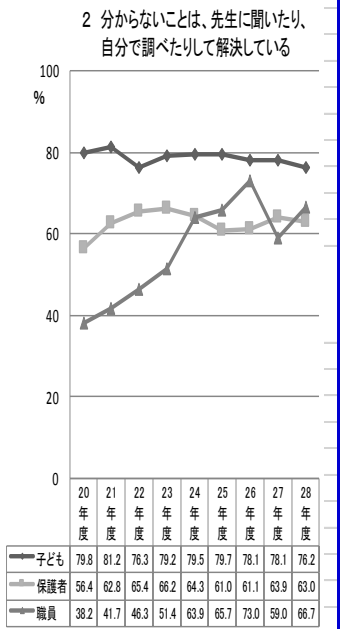
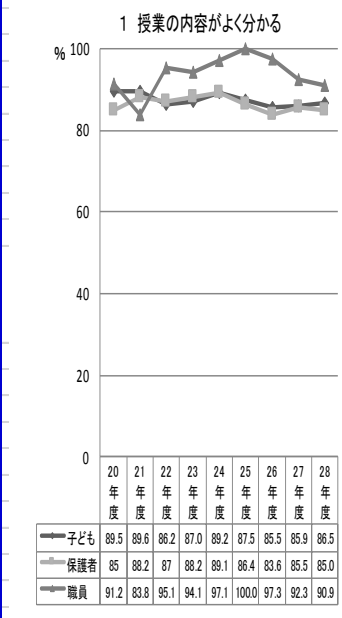
【考察】「子ども」「保護者」「職員」共に8年間、90%以上を保持している。学校生活において、子どもにとって何が楽しいのか、どうことを丁寧に教えていきたい。また、楽しくないと思ふ要因は何かということ保護者と共に把握しながら、思いに寄り添った指導をしていきたい。(数値目標95%以上)

質問内容	年度	子ども 保護者 職員		
		子ども	保護者	職員
4 友達と仲よくしている。	20年度	92.1	95.6	86.4
	21年度	95.8	94.2	91.4
	22年度	95.2	96.3	97.6
	23年度	95.9	96.8	97.2
	24年度	97.1	96.1	92.3
	25年度	95.0	97.7	97.1
	26年度	95.6	97.3	100.0
	27年度	95.3	97.4	87.2
	28年度	95.1	95.8	100.0

【考察】「子ども」「保護者」「職員」ともに高い割合となっている。しかし、保護者の数値が下がっている点は気になる。保護者アンケートから友達間のトラブルへの早期解決をしている職員への感謝の声が多数ある。一方、落ち着きのない児童への心配も書かれている。職員は学級づくりに精一杯取り組んでいることがわかる。

平成28年度 磐田北小学校をよりよい学校にするためのアンケート結果	
実施日	平成28年10月末日

※各欄の数字は、「かなり当てはまる」「まあ当てはまる」と回答された割合(%)です。



質問内容	年度	子ども	保護者	職員
5 まわりの人にあいさつをしている。	20年度	90.7	80.3	35.3
	21年度	89.1	84.3	14.7
	22年度	89.1	80.5	36.6
	23年度	92.7	85.5	59.5
	24年度	91.6	83.6	59.0
	25年度	89.9	84.5	62.9
	26年度	89.0	85.6	70.0
	27年度	88.4	85.0	66.7
	28年度	90.8	84.7	76.5

【考察】「子ども」のあいさつへの意識は高まってきている。これは、ほやこげ委員会、スマイルIP委員会による朝のあいさつ運動の取組等により、子ども間で地道ではあるが効果を上げていると考えられる。「職員」の数値が低いのは、今以上に期待されていると考えられる。また、地域の方が積極的にあいさつしてくださり、ありがたい。(数値目標90%以上)

質問内容	年度	子ども	保護者	職員
6 学級には、おたがいにルールを守り、協力する雰囲気がある。	20年度	77.3	77.1	44.1
	21年度	81.6	91	78.8
	22年度	82.8	84.8	87.8
	23年度	83.1	86.1	86.5
	24年度	88.4	84.6	94.9
	25年度	85.2	90.3	91.4
	26年度	80.0	90.8	89.5
	27年度	84.5	94.0	82.1
	28年度	84.3	91.7	94.1

【考察】「子ども」の評価はやや低めである。これは、自分の学校生活を振り返っているため、やや厳しい評価をしていると思われる。また、「職員」については、昨年度の数値を反省材料とし、生徒指導主任を中心に学校(学級)の約束をきちんと守るよう意識が高まったためだと考えられる。

質問内容	年度	子ども	保護者	職員
7 子どもたちは、自分の将来に対して、夢や希望をもっている。	20年度	85.5	71.9	67.6
	21年度	88.9	77.1	77.1
	22年度	87.1	79.3	82.9
	23年度	87.0	77.2	91.2
	24年度	90.7	79.6	100.0
	25年度	90.5	80.3	94.3
	26年度	88.8	79.7	94.4
	27年度	#REF!	#REF!	#REF!
	28年度	87.3	79.1	90.9

【考察】「保護者」の数値が昨年度よりも大きく下回っている。学校として、学校行事や学年の取組に対して、保護者に取組の価値付けをして働きかけが少なかったこと考えられる。また、子どもが自己肯定感を高める指導を充実させていくことで、子どもと保護者の安心感を高めていきたい。(数値目標90%以上)

質問内容	年度	子ども	保護者	職員
8 子どもたちには、学校に相談できる人がいる。	20年度	82	63	84.2
	21年度	84	77.9	91.1
	22年度	82.9	71.1	87.8
	23年度	83.6	70.8	94.3
	24年度	85.6	71.4	97.3
	25年度	85.6	81.1	85.7
	26年度	86.3	77.4	94.7
	27年度	#REF!	#REF!	#REF!
	28年度	85.3	77.6	94.1

【考察】「子ども」「保護者」の数値が下がっている。「職員」はそれぞれの立場から子どもたちへ様々な関わりをもとめ努力していることがわかる。しかし、「子ども」は相談するのが恥ずかしいとの意見もあるが、それだけでなく、誰にどのように相談していいのかわからないことも考えられる。「保護者」からは、子ども同士で相談だけでなく、教職員には今以上に積極的に相談にのってほしいとの要望も受け止められる。

